



かわいっ子

河合小だより

令和3年7月

「強く 正しく 温かく」－他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成－

文責：学校長



英語を学ぶにあたって大切なことは何なのか？

吉岡 優

子供たちが小学校で学ぶ英語学習は、2020年4月に大きなターニングポイントがあり、全ての公立小学校で英語が必修化されました。3、4年生は週1回の「外国語活動」、5、6年生で学ぶ英語（正確には「外国語」）が必修の「教科」になりました。

この「英語教育必修化」で高学年には大きな変化が2つあります。1つは、「高学年では国語や算数と同じように評価（成績を付ける）する」ということです。2つめは、これまで「聞くこと・話すこと」が中心だった授業に「読むこと・書くこと」が加わったことです。



「留学経験ゼロで「ハーバード首席卒業」の日本人 バイオリニスト廣津留すみれさん語る、自学力」

【出典：東洋経済 education 2021/03/03】

<https://toyokeizai.net/articles/-/414398>

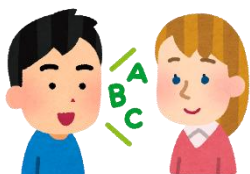
「茨城の公立高校からハーバード大に合格した18歳が日本の高校生に訴えたいこと」

【出典：AERA dot. 2021/6/4】

<https://dot.asahi.com/dot/photoarticle/2021053100038.html?page=1>



さて、今年になって2人の若い日本人の活躍がネット上で話題になりました（上記参照）。この2人は日本という枠組みに収まらない、本物の「グローバル人材」と言えるかもしれません。昔、「英語がしゃべれなくたって生きていける」など耳にしたことがあります。これから子どもたちが生きていくグローバル社会においてそうとは言えないかもしれません。



この2人が一様に口にするのは「英語力」です。もちろんハーバード大はアメリカの大学ですから、すべて入試は英語での設問です。もちろん、英単語や英熟語を覚えることも大切ですが、「コミュニケーション能力」「文化や生活様式の理解」がもっと大切で、更に、外国の人と積極的に

友好を結び、ふれ合い、知ることが英語力の向上の秘訣だ、言葉の裏にある「文化」や「人の思い」を知ることがポイントだ、と力説しています。話は変わりますが、世界で活躍する[大谷翔平選手](#)（野球）や[笹生優花プロ](#)（ゴルフ）も英語で自分の考えをはっきり述べます。子どもたちの将来を見据え、家庭でも英語学びを取り入れてみては？

サイバー講演会をしました

6月4日（金）、[NIT 代表取締役の篠原嘉一氏](#)をお招きして、「安心して使うために知って



おきたいネットのリスク～リモート時代の注意点～」と題して、全校生対象に講演会を開催しました。緊急事態宣言延長のため、児童のみの講演でしたが、内容については是非とも保護者様と共有したいことをお伝えします。

ネット依存（ゲーム障害、動画依存など）が進行すると、自尊感情の低下、言葉遣いの悪化、イライラする、攻撃的になる、生活の乱れ、体調不良、問題行動、人とのコミュニケーションが取れない、などの症状が表れるといわれています。

コロナ禍のため、多くの人（大人も子どもも）が、今まで以上にストレスが溜まっている中で、大人ですらネット依存が問題になってきています。近年、例えば攻撃的な言動、あおり運転、人を傷つける誹謗・中傷など、ネット依存症の症状と思われる事案が多く見受けられ、「ネット依存」が原因の一つではないかと思われます。



([CERO HP](#) より)

「長時間のゲーム・動画視聴は脳に悪影響を与える。特に戦闘ゲームは要注意。」篠原先生は強く訴えておられました。また、「アプリ等のダウンロードは親に全責任がある。年齢制限等があるので、しっかり確認すること。」とも忠告されました。上図はコンテンツ等の年齢制限表です。今一度、インストール・視聴等の際には確認ください。特に「CERO B～Z」のコンテンツは小学生の子どもが楽しむ（楽しむ）ことは想定されていませんので、「大人が子供をしっかり守る」という観点で声かけ・対応願います。



コロナ感染症対策と熱中症対策の両立

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、一人ひとりが感染防止の3つの基本である「(1) 身体的距離の確保、(2) マスクの着用、(3) 手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける」等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められているところです。(挿絵は[政府広報オンライン](#)) しかし、先日リモート朝会で、これから夏を迎えるにあたり、コロナ対策とともに例年よりも一層熱中症にも注意するよう、子どもたちに話しました。

- (1) 体育の授業では原則マスクを取る。(ただし、ソーシャルディスタンスの徹底)
- (2) 登下校、徒歩はマスクを取る、電車バスではマスクをする。(日傘も有効)
- (3) マスクをしていて苦しくなったら、近くの人にすぐに言う。(助けてもらう)
- (4) 日ごろから体調管理と体力づくりを続ける。(早寝・早起き・朝ごはんの励行)

以上の4点、ご家庭でも声かけ・確認願えれば幸いです。